

2024年度後期 健康情報学科 専門発展科目

データベース演習 (旧 データベース実践)

人間健康学部 健康情報学科 教授

天願 健



授業概要

データベース演習では、データの管理・活用を目的としたデータベース設計と実践的な運用方法を学ぶ。特に、SQLを活用したデータベース構築や、現場でのデータ活用を想定した応用的なスキルの習得を目指す。

データベースを「使える知識」として定着させるには

データベースの理論は一見難しく感じるが、実際に手を動かして設計・構築することで、仕組みを理解しやすくなる。単なる知識の暗記ではなく、「データベースを活用できる力」を養うことが目的である。



担当教員からのポイント

Point1 : 実践的な学習を通じて理解を深める

データベースの概念やSQLの構文は、実際に作成・操作することで理解が深まる。授業では講義だけでなく、演習の時間を十分に確保し、学生が手を動かして学べる環境を整えている。基本的なSQL操作から始め、段階的に応用へと進めることで、「理解できた!」という実感を得やすくしている。

Point2 : データベース設計の考え方を重視

SQLの構文を覚えるだけでなく、データの整理・管理の視点を重視している。授業では、学生が実際にデータベースを設計し、試行錯誤できる機会を設け、論理的なデータ整理のスキルを身につけられるようにしている。これにより、実務で応用できる力が養われる。

Point3 : 対話を重視し、学生の疑問を解決する

データベースは初学者にとって難しい分野だが、学生がつまづかないよう、質問しやすい雰囲気大切にしている。個別の質問にも丁寧に対応し、一人ひとりの理解をサポートすることで、「分かった!」という実感を得やすくしている。

2024年度 教育改善のための学生による授業アンケート「優れた授業・特徴的な授業」事例集

単位 2単位

開講 2024年度後学期

授業形式 演習

対象 3年次

履修者数 18名

問すべての平均点 4.60

履修学生・授業コメントからのポイント



履修学生からのインタビューより

Point1 : 実際に手を動かしながら学べるので、納得感がある

データベースを実際に構築しながら学ぶことで、単に理論を理解するだけでなく、実際の運用方法や応用の仕方まで身につけることができた。SQLの構文を学ぶだけでなく、どのようにデータベースを設計すればよいのかという考え方で深く理解できるようになり、実際の活用に向けた応用力が養われたと感じる。

Point2 : 理解を深めるための工夫が多く、学びやすい

授業内で演習の時間がしっかりと確保されていたため、学んだ内容をすぐに実践でき、知識が定着しやすかった。さらに、授業中の質問に対しても教員が丁寧に対応してくれたため、疑問をその場で解消しながら学習を進めることができた。



授業評価コメントより

Point1 : データベースを実際に作ることで、学んだ内容を活用できた

Point2 : 今後も役立てられると感じた

Point3 : 他の学生の発表を聞くことで多様なアイデアに触れられた

Point4 : SQLを使ったデータベース設計を経験し、理解が深まったなど